

第7回 千曲市総合計画審議会 議事録

日時 平成28年11月10日(木) 午後1時30分

会場 戸倉創造館 小ホール・国際交流室

1. 開会

<開会のあいさつ>

2. 審議会長あいさつ

<会長あいさつ>

3. 会議事項

基本計画(素案)の調査・審議について報告

・第1部会

委員：前回の部会において、達成方針 1-6【移住・定住】の「若者の移住・定住環境の整備」に関して、対象を若者だけに絞らず、定年されたリタイア層も視野に入れたらどうかとの意見が出た。担当課より、「総合戦略において「千曲市版 CCRC」の設置に向けた検討を位置づけている。総合計画では若年層や子育て世代を中心に、豊かな自然環境である千曲市において若い世代が希望をかなえることができる、住んでみたい、住みやすいまちであることを第一に掲げていきたい。」との回答があった。最終的に原案どおり問題がないとの意見にまとまった。

次に、1-2 産業連携、1-3 産業振興の順番を入れ替えたほうが良いのではとの意見について再審議した。担当課より「現総合計画と同様に、1-2 産業連携の施策の内容は基盤整備が中心であり、基盤、産業創出、人材育成などの産業振興全体を整えた上で、1-3 産業振興で各産業の活性化を図るという構造なので、現計画を継承していくという理由から、順番は当初どおりでお願いしたい。」とのことであった。また、1-2-2(2) 産業連携の推進の内容が、「a 現状と課題」に対し少々弱いことから、「●産業間及び企業間の連携を促し、多様で付加価値の高いビジネスの創造を支援します。」という1文を追加したいとの申し出があった。順番及び文言の追加について、最終的に問題がないとの意見にまとまった。

続いて、1-3 産業振興の途中から1-5まで議論が進み、達成方針 1-3【産業振興】、1-4【観光・交流】、1-5【雇用】では、最終的に原案どおり問題ないとの意見にまとまった。

・第2部会

委員：達成方針 3-4の一部および3-6の一部について、前回の部会で持越しと

なった部分について再審議した。3-4については原案どおりとし、また3-6については、「a 現状と課題」のところで、保護世帯数が明記されているがこれは記載すべきでないということで意見がまとまった。

次に、前回の部会のあとに出された、別部会の委員からの意見について協議をしたが、担当課から説明を受けた上でいずれも原案のとおりとした。

・第3部会

委員：始めに、前回の審議会での委員からの意見で、「5-1には「次世代に継承」とあるので、小中学生に対する啓発の文言を入れたらどうか」という意見があったので、これについて協議した。5章の中に「市民の生涯学習活動」との文言があり、「生涯学習」という幅広い年代に対する記述があるので、この文言で読み取れるため、原案どおりで意見の内容を満足できるのではないかと意見でまとまった。

続いて5-2について、「現状と課題のところの最後の項目について、「昔ながらの原風景や水辺環境」という表現があるが、ここに千曲川に生息するウグイだとかつけば小屋という言葉を入れてみたらどうか。」との意見があり、部会の意見としてまとまった。

続いて5-3の中で、「重要文化的景観」の「重要」が抜けており、修正するとのことで意見がまとまった。

また、「市内には北国街道とか、善光寺街道、旧北国西街道といった街道があるが、この「街道」という文言をどこかに入れてほしい。」との意見があり、協議した結果、「旧街道」の表記を入れていくことで意見がまとまった。

続いて、5-4の「郷土料理を伝えていく」の中では、「粉物文化を代表して、「やしょうま」「おやき」「おとうじ」の表現があるが、この前段で、粉物文化は二毛作から生まれたこの地域の特色であるということに記載してほしい、また当地域の粉物文化の代表のひとつとして「うどん」も加えてほしい。」との意見があり、協議した結果、この2点について文中に加えていくことで意見がまとまった。その他の部分についてはすべて原案どおりで意見がまとまった。

続いて、5-5「伝統行事や民話などを楽しみ、次代に伝承する」について、様々な意見は出たが、原案どおり問題がないということで、意見がまとまった。

・第4部会

委員：6-2【行政経営】について、今の市の行財政の中身について、たくさんの資料を出してもらい説明を聞いた。市のこれからの財政の見通しの認識とい

うことも確認できたので、原案どおりで問題ないとの意見にまとまった。
続いて、6-3【広域行政】について、広域的な枠組みがこんなにあるのかと驚いたが、原案どおり問題ないとした。
続いて、6-4【情報コミュニケーション】について、市は情報化時代の中、色々な情報機器やICTとかSNS等を用いているとのことだが、セキュリティに十分気をつけること、情報公開をしっかりとやってもらうことをお願いした上で、原案どおり問題ないとの意見にまとまった。

会長：各部会の報告に関しての質問があればお願いしたい。

委員：前回の審議会の中で、新幹線新駅誘致に関する事務局からの説明の中で、13,000名の同意、承諾があるとのことであったが、千曲市民の同意であるのか、それとも他地区のものも入っているのか。

企画政策部長：期成同盟会の会員数については、ほぼ千曲市民の数字である。もちろん市民のための施策であると同時に、これを進めていくためには長野県全体の利益というものも必要で、長野県のためにもなる施策であるという位置づけで計画をつくっているため、県内の市長・市議会議員をはじめとする関係者への協力をお願いしている。

委員：各部会の会議録を読んで、仕事と子育ての両立ができるような環境の整備や支援、不妊治療への対応、「婚活」への支援などが求められているのではないかと感じた。

企画政策部長：子育て支援については、市長も大変力を入れており、「総合戦略」では県下には無いような事業をたくさん盛り込んだ。例えば、二人目の子どもの保育料を所得制限なしで二分の一にすることとしたが、これは国の施策より一歩進んだ形である。不妊治療についても、県、国の事業と合わせて続けている。婚活事業についても、社協に任せきりというわけではなく、市との協働で実施している。それから、「病児・病後児保育」も平成27年度から始めている。

委員：これで基本計画の審議が終わって中間答申のとりまとめになるが、基本構想について、今まで審議会で出された意見を反映したものが出されるということよろしいか。

総合政策課長：今日で専門部会は終了となり、文言の修正等に対する意見があった部分については持ち帰って庁内の策定委員会にて整理する。再度審議会にかける必要があるというものについては、そういった意見が出たということで整理をして、パブリックコメントに付すことを考えている。

委員：基本計画の順番についての意見を申し上げたが、それについてはこれから庁内で調整するということですか。

総合政策担当部長：これまでの審議会でも私どもの考えを申し上げており、最終的には、18

日の審議会の議論の結果が中間答申になるということをご理解をいただきたい。

4. その他

<今後の予定について事務局より説明>

5. 閉会

<企画政策部長より閉会のあいさつ>